

地域ブランドとしての八ヶ岳を考える

アカデミー賞を受賞した映画「おくりびと」のプロデューサーであり、庄内映画村社長の宇生雅明さんに、清里から単身庄内に乗り込み、映画づくりに関わりはじめたきっかけから、現在までのお話を「地域ブランド」の視点からお話ししていただきます。

パネルディスカッションでは、八ヶ岳エリア在住のパネラーの方に、ご自身の目を見た八ヶ岳の「良いもの」と、地域ブランドの可能性を語っていただきます。



八ヶ岳には他所に誇れる「良いもの」が沢山ありますし、その情報を発信している人も大勢居ます。しかし、他所の人たちに充分知られているとは言えませんし、地域住民すら知らない、或いは気付いていないものも多いのではありませんか。

何故かと言えば、それは情報のまとめ方や発信の仕方がバラバラで、内容がまちまちだからです。今必要なのは、地域のみんが地域の良いものを共通認識として自覚することです。それを外に向けて知らせていくことで、八ヶ岳をもっと元気な楽しい地域にしたい。そのためには、地域の「良いもの」を集め、選び、まとめて視覚化することが、必要なのではないのでしょうか。

そういう事を考えていく人たちの、緩やかな連携を立ち上げられないか。それを考えるための切っ掛けとして、講演会とパネルディスカッションを企画しました。

※「良いもの」とは、単に「商品」という意味ではなく、地域の風景あり、自然あり、街並み、歴史、文化、生活などを含む、ある意味「ランドデザイン」と言えるかも知れません。ここではそれを「八ヶ岳ブランド」と呼びたいと思います。

講演会

会場・長坂コミュニティーホール

日時・11月26日(土) 午後1時30分～4時30分(休憩あり)

参加費・1人300円

内容・以下の3部構成 総合司会・松村 雅子(絵本作家)

1. DVD「夢は日本のハリウッド」一部上映

2. 講演 「庄内映画村の挑戦」～地域ブランドを考える～

講師・宇生 雅明(庄内映画村株式会社代表取締役)

3. パネルディスカッション

パネラー・宇生 雅明(庄内映画村株式会社代表取締役)

樋口 明雄(小説家)

佐久間 寿夫(日本一の朝プロジェクト代表)

藤原 恵理(野菜ソムリエ・フリーライター)

コーディネーター・清水 稔三郎(八ヶ岳ネットワーク代表)



交流会

会場・八ヶ岳ロイヤルホテル

日時・11月26日(土) 午後6時～9時

※講演会終了後にバスによる送迎あり

参加費・1人4,000～5,000円 立食式の食事と飲み物

内容・講師、パネラー、主要メンバーの紹介、挨拶

参加者同士の交流、名刺交換

118の八ヶ岳ブランド計画の発表 その他

講演会で顔を合わせた皆さんが、共に「八ヶ岳ブランド」について、話し合い、発展させることが出来たら素晴らしいと思いませんか。

例えば、私たちは、11月8日八ヶ岳の日に因んで「118の八ヶ岳ブランド」をプランとして考えています。

地域や団体によりいろいろな考えがあり、尊重されるべきですが、そこに垣根を作るよりも、より広く連携することで実現できる可能性を考えたいと思います。

この講演会とパネルディスカッションへの協賛・協力をしていただける企業・団体を募集しています。詳しくは裏面をご覧ください。(講師・パネラーの紹介も裏面にあります。)